

令和6年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施 設 名	母子父子福祉センター
所 管 部 (局) 課	こども未来部 子育て給付課
指 定 管 理 者	社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
1	基本姿勢	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか 市の施策全般を理解し協力しているか 地方自治法等の関連法令を遵守しているか 施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか	「母子及び父子並びに寡婦福祉法（昭和 39 年法律第 129 号）に基づく母子・父子福祉施設として、豊中市に母子・父子福祉センターを設置する。」との設置目的を果たすため、指定管理者として子育て・子育て支援行動計画など市の施策を基にした方針を立て運営に取り組んでいた。 一方、オンライン手続きの推進など一部、施策への協力には消極的な点もあった。	B
2	サービス水準・施設効用の発揮	その施設として重要と思われる業績の評価指標（KPI） 事業利用者人数 （大をめざすもの） 相談件数 （小をめざすもの） 施設の維持管理を安心安全に配慮して行っているか 利用者等にサービスを提供するうえで、事故防止のための安全管理が徹底されているか 使用許可の判断等を公平公正に行っているか 安定して確実に日常業務を遂行しているか 創意工夫ある独自企画事業を展開しているか	最高評価サービス水準値；1,500 人 確保すべきサービス水準値；1,000 人 実績値；1,153 人 最高評価サービス水準値；220 件 確保すべきサービス水準値；150 件 実績値；431 件 事業利用者延べ人数は目標値には到達しなかったが、確保すべきサービスレベルは満たしており、相談件数は目標値を大幅に上回った。 施設がリニューアルして初年度だったが、施設の維持管理や事故防止についても関連部局と協力し、安心安全な運営に努めていた。 事業実施初年度の親子（面会）交流支援事業については、こども、父母の意見をくみ取り安定的に実施することができた。 当事者同士での交流を行う事業を提案し実施したが、参加者が乏しく更なる広報や企画内容の創意工夫を期待したい。	B
3	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	流動負債に対する流動資産の割合（流動比率）が 272%で 100%を超えており、純資産に対する負債の割合（負債比率）が 10.7%であることなどから財政状況は安定している。	B
4	市民満足度への配慮	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か	指定管理者の責めによるクレームもなく、約 80%の人がアンケートで満足し	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		地域の市民との関係は良好か	たとの回答であったことは高く評価できる。 施設がリニューアルして最初の年度であったが、地域市民との関係に大きな問題はなく良好であった。	
5	従業員への配慮	労働関係法令を遵守しているか 研修は実施されているか 従業員が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか 従事者（第三者委託先の従事者含む）が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	労働関係法令違反がない運営を行っている。 計画に基づく接遇、人権研修を実施している。 ストレスチェックを実施するなど従事者の働きやすい環境整備に取り組んでいる。	B
6	個人情報保護体制	個人情報保護の体制が整備されているか	個人データの適正管理や個人情報保護管理者等を規定する個人情報保護規程が整備され運用されている。	B
7	危機管理体制	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	緊急時対応計画の策定、防災訓練（年1回）の実施など、問題のない管理運営体制であるといえる。	B
8	その他	その他、条例等から必要と判断される評価事項	特になし	
	総合評価		親子（面会）交流支援や憩いの場の実施など新しいことにチャレンジする意欲や、前向きに事業に取り組む姿勢、安心安全な施設の維持管理は評価できる。 従業員2名の退職について次年度の業務影響を注視する。 現在の対象者に即した事業内容・手法の創意工夫やSNSを使った情報発信、WEBでの申込受付などの取組みを期待する。	B

(評価の基準)

- A ; 優れた管理運営状況である
B ; 問題のない管理運営状況である
C ; 改善を要する管理運営状況である